

犯罪統計

1 犯罪統計（2017 年）に見る犯罪発生状況

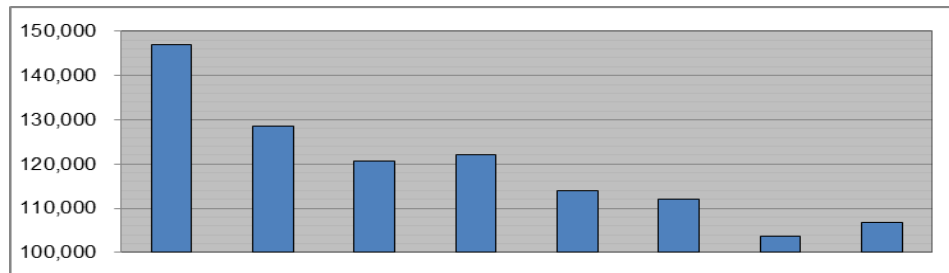
2017 年のブルガリアにおける犯罪発生状況等について、ブルガリア内務省の統計を我が国における犯罪発生状況と比較してまとめると以下のとおりです。

・ブルガリア人口 約 705 万人（我が国人口 約 1 億 2,670 万人）

	認知件数	10 万人当 たりのブルガ リア国内罪 種別犯罪率	前年比 (%)	10 万人当 たりの日本国 内罪種別犯 罪率 ※	対日本比較 (日本を 100 とした場合の 指数)
犯罪認知件数	106,659	1,501.8	2.8	722.2	208
殺人	207	2.9	0.5	0.7	405
強盗	1,563	22.2	-6.9	1.5	1,519
強姦	142	2.0	43.4	0.9	231
強制わいせつ	257	3.6	10.8	4.6	80
放火	1,622	23.0	8.6	0.8	3,045
略取誘拐・人身売買	232	3.3	37.3	0.2	1,748
窃盗	43,451	616.3	-6.1	516.4	119
（うち自動車盗・オートバイ盗）	2,356	33.4	-26.2	185.8	18
交通事故死者数	682	9.7	-3.7	2.9	334

※ 警察白書及び警察庁ホームページのデータを元に計算

2 犯罪認知件数等の推移



年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
犯罪認知件数 (件)	147,025	128,602	120,558	122,080	114,004	112,037	103,773	106,659
邦人被害件数 (件)	4	6	5	11	5	10	4	7

※ 2017 年中の邦人犯罪被害件数の罪種別内訳

窃盗 4, タクシーぼったくり 2, スキミング 1

3 ブルガリアの犯罪概要

犯罪認知件数は 2010 年を頂点として減少傾向にあったものの、2017 年は微増に転じました。主な理由は、不法移民を対象とした人身売買事件の増加や、高齢者を対象とした詐欺事件、日本で言う「オレオレ詐欺」の増加が挙げられます。邦人の被害件数は 7 件発生してお

いますが、邦人であることを理由に被害に遭った状況は認められません。

2017 年の同人口当たりの発生件数を我が国と比較しますと、殺人が約 4.0 倍、強盗が約 15 倍、放火が約 23 倍、略取誘拐が約 17 倍などと桁違いに発生しており、日本と同じような感覚でいると大変危険であるといえます。

また、我が国において刑法犯の 7 から 8 割を占める窃盗の指数が我が国とほぼ同等となっていますが、ブルガリアにおいては軽微な窃盗被害の場合は警察に被害届を提出しないことが多く、スリや置き引き等が常態化していることを考えれば、実際の窃盗被害は統計よりかなり多く発生していると考えられますので特に注意が必要です。

(了)